

令和6年度 こども若者★いけんぷらす
学校の授業で活用できる「政治や選挙に関する教材」について
アンケート調査結果（いけんのまとめ）

○調査概要

（1）調査テーマ

- 学校の授業で活用できる「政治や選挙に関する教材」について

（2）調査対象

- 「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」のうち小学4年生以上の方

（3）回収状況

- 回答数：158件

（4）調査方法

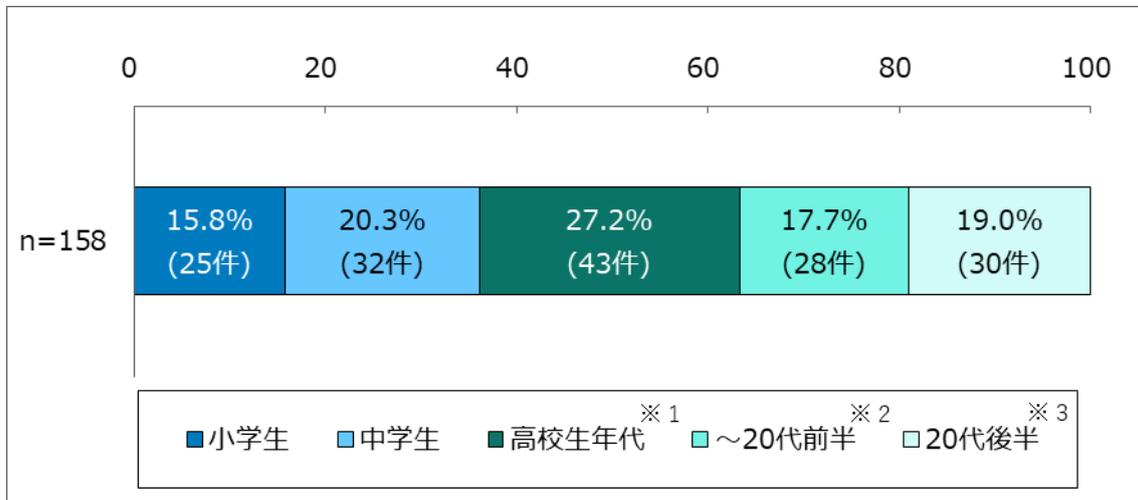
- WEB アンケート調査

（5）調査期間

- 令和6年7月22日（月）～8月18日（日）

○調査結果

Q1. あなたの年代を教えてください。(単数回答)

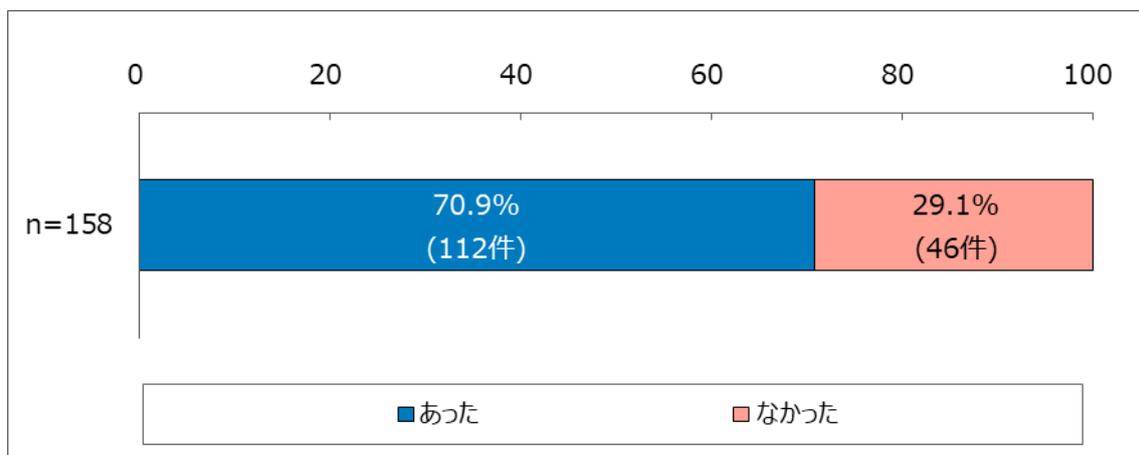


※1 2009年4月1日～2006年4月2日生まれの方

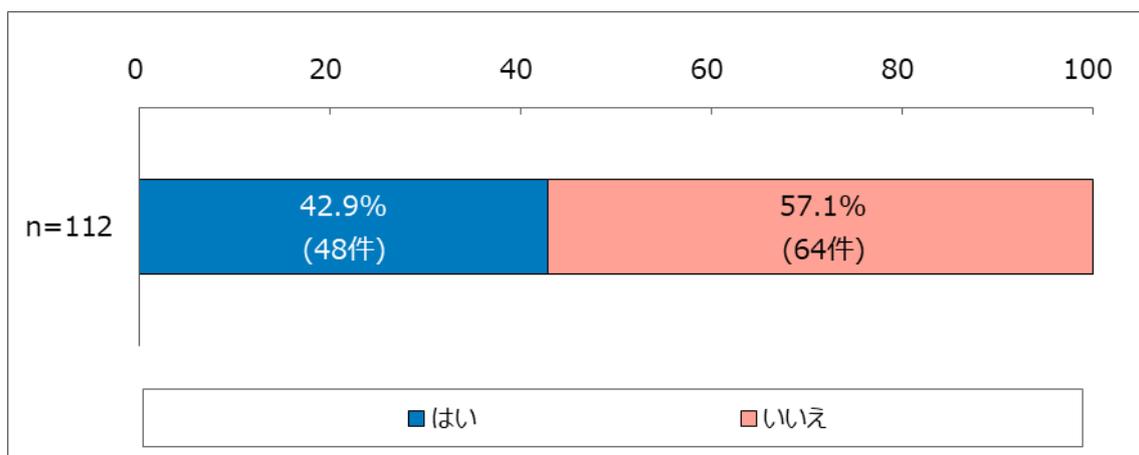
※2 2006年4月1日～2000年4月2日生まれの方

※3 2000年4月1日～1994年4月2日生まれの方

Q2. 学校の授業で、選挙や政治について学ぶ時間はありましたか。(単数回答)



Q3. それは動画など教科書以外の教材を活用した授業でしたか。(単数回答)
(Q2で「あった」を選択した人のみ回答)



Q4. もし、みなさんがいま小学生で（小学生の人は、実際に自分が）、選挙や政治について学ぶ授業を受けるとしたら、どのような教材があれば興味がわきますか。（自由記述）

- キャラクターが動画などで教えてくれたら楽しく学べて興味がわくと思います
- キャラクターによる選挙の仕組みを説明する劇
- キャラクターや著名人を使った物やゲーム性があるもの
- キャラクターを使った体験式の教材
- 例にも挙がっているように、今流行りの人気キャラクターとコラボレーションして、ゲーム形式で物語を演出すると良いと思います。小学生のお子さんにもすんなり入って、理解しやすいと考えます。
- 有名、または自分が知っているキャラクターが登場するアニメーション。
- 有名キャラクターが説明してくれる教材
- 有名なアニメとタイアップすれば、興味や関心が湧くと思う。ただし、万人が見ているようなアニメ（ドラえもん等）でなければならない。
- 人気があるキャラクターが出てくる動画での説明。ゲーム形式で参加することで理解がふかまる
- 人気キャラが出てくるストーリー性のある動画
- 人気キャラクターが政治や選挙を行っているアニメ動画。
- 押しキャラが、ドラマみたいに説明っぽくなく教えてくれる動画。
- かいけつゾロリが政治や選挙について語ったり、ゾロリが立候補して選挙を実施しているアニメ。
- もっとクレヨンしんちゃんみたいにおもしろくなってほしい
- 親近感を持てるような動画や絵本など
- 身近なキャラクターがいると親近感が湧く
- 人気 YouTuber や芸能人が身近な政治的問題について話している動画
- 人気な YouTuber による選挙の動画
- 楽しく見れるよう Youtuber とかに出演してもらおう
- 人気の Youtuber が選挙を紹介している動画
- YouTuber や芸能人などが政治についてわかりやすく解説してくれる動画。
- 推しが語っている動画
- 小学生に人気なインフルエンサーが分かりやすく解説してくれる動画
- 動画で人気のタレントさんが分かりやすく説明してくれる等、構えないで見られるものが良いと思います。
- マンガやアニメなどを使って分かりやすく学べるもの
- 漫画がわかりやすい
- 授業に関係するマンガ
- リアリティのあるマンガ
- 手元にあって繰り返し読み返すことができるマンガ冊子(進研ゼミみたいな万人受けするようなイラスト)
- マンガ形式の冊子

- アニメ形式で説明されているもの
- アニメ調の 10 分程度の短い動画
- 導入はアニメ、架空のお話がいいです。そこからゲーム形式で簡単な選挙ゲームをしたいです。また、投票しないとどうなるのかを知れるほうが良い。
- ゲーム形式は取っ掛かりとしてはとてもいいと思う。投票をすると、世の中がどう変わるのかなど、投票の目的やその後の効果など分かるといい。
- カードゲーム方式の教材
- クイズになっている
- クイズやゲームがあるとたのしい
- グッズ
- ゲームでしょぼいゲームじゃだめだよ
- ゲームになっている教材
- ゲームの教材
- ゲームを通して実際に選挙を体験できる教材
- ゲーム形式（2件）
- ゲーム形式で実際に選挙や政治を体感してみる教材
- ゲーム形式で政治や選挙を疑似体験できる教材
- ゲーム形式で選挙を行う
- ゲーム形式の教材（7件）
- ゲーム形式や実践方式での取り組み
- シミュレーションゲームで政治や選挙について学べると思う。ゲームだと実際の体験に近いことができる。有権者として投票に行くだけではなく、政治家になってどんな仕事をしているかを体験するなどできる。また、そもそもの仕組み(選挙制度)や政治家はどんな仕事をしているのかすら知らなかった。
- 1 位を競い合うゲーム形式(Kahoot!)
- ボードゲームなど、実際に手を動かして学べるような教材。文字がほとんどなく、イラストで説明されるもの。
- 政治や選挙の意義についてゲーム感覚で学習できるような教材
- 信長の野望のような新しいゲーム
- 選挙に関するゲーム形式の教材
- 選挙に参加してどんな結果が待っているのかが分かりやすいゲーム
- 選挙や政治を体験できるゲーム教材
- 投票や多数決を理解できることが優先だと思うので、人物に限らず、食べ物とかで人気投票をする形のゲームができればいいと思う。
- 選挙版人生ゲーム (ex)このキャラクターを選んだら〜〜が実現した→自分は〜〜の利益を受けた or 不利益を被った

- 選挙や政治に関するクイズ形式の動画
- すごろく形式
- 物語形式の教材
- フィクション動画
- 小学生の視点から選挙や政治を考えられるような簡単な動画。文字だけだと伝わりにくいから。
- 分かりやすい物語みたいな動画
- コメディー感覚で笑いながら見れるような動画
- 選挙についての仕組みをわかりやすく説明するアニメや漫画
- 実際の選挙の内容についてわかりやすく解説している動画
- 投票の様子動画
- 【動画】実際の選挙特番を、出てくる用語や社会問題をさらに噛み砕いた解説付きで観て、模擬投票をやってみるのがいいと思う。そのビデオに、後年の政策評価（何を期待された政権で、どんな社会事象にどう対応したか、など）まで盛り込めるとなお良いと思う。NHKのサイトにある「ポータルマッチ」や、新聞の選挙公報を、説明を噛み砕いて貰いつつ自分の思うように読んでみて政策について議論するのも面白いと思う。
- シン・ゴジラのように政治家の舞台裏を格好良く描いている動画など
- 選挙や政治関連の映画やドラマを見たい。小学生なら言葉で伝えるより、映像のほうが伝わりやすいから。
- 三権分立を習いました。繰り返し学びましたが、勉強として選挙や政治を学ぶと興味は持てませんでした。人気キャラクターより、人気俳優がドラマ仕立てで説明されると興味がでると思います。
- ゲーム形式も良いと思うが、小学生には難しいと思う。分かりやすい（難しい言葉には説明が入った）政治のドラマや映画など映像化されたものが興味を持ち鑑賞出来ると思う。
- 政治や選挙について一から楽しく説明してくれるような動画。
- パソコンなどを使用した教材
- 小冊子の教材。
- 図や写真などで政治の仕組みがわかりやすい教材
- 実際に選挙の体験ができる模擬選挙
- 模擬選挙(わかりやすく)。実際に参加してみることで興味がわく
- 模擬選挙
- 模擬選挙(投票方式やマニフェストについて考えるきっかけづくり)
- 模擬選挙をできるもの
- クラスで立候補者、投票者、立ち会い人など模擬選挙
- ゲーム形式で投票できる教材(どちらかといえば、人間よりも政策について投票できるもの) + 普通に生徒会とかを充実させるのもいいと思います
- 架空でもいいので選挙や政治について人々が無関心でいたらどうなるかをストーリーで知りたい。それが“架空のこと”ではなく現実で起こりうることだとも実感できるように。

- 架空のお話を通して、選挙や政治が自分の生活にどう関わっているのかを描いた動画
- 架空の人物、キャラクターが出てくる動画などがいいと思います
- 架空の政党に投票してみる
- 架空の町の選挙を一連で体験できる動画
- 架空の投票をクラスで実施できる教材
- 架空の話で架空の選挙を試みる動画
- 架空の話で選挙をする
- 架空の話で選挙を行う実践型の授業
- 架空でもいいので、政策がさまざまな政治家を何人が用意して、実際に投票してみるゲーム形式？みたいなのもいいと思う。
- 座学の後に実際に模擬選挙を実施する。
- ロールプレイを用いた授業(架空の候補者を数人提示してどの候補者に投票したいか、選んだ理由は何かを考える)
- 実際にやってみる (デモンストレーション or 寸劇的なやつでも)
- 実際に架空の候補者の動画を見て、教室で投票してみる。
- 実際に学級で模擬選挙を試みる。
- 小学生が興味のあるものについての選挙を行うこと
- 実際に学校生活に関わる内容を選挙形式で決める。とんでもない結果になってもトラブルにならない範囲で…給食のメニュー (アレルギー等そもそも食べられない子の救済措置込) とか
- 実際に選挙箱などを用いた選挙でクラス代表を決めて、何らかの話し合いを行ってみると関心が持てると思う
- 実際に模擬で選挙をやってみる
- 実際に選挙を試みる。本物の候補者ではなく、架空の人物
- 仮想世界での選挙に自分たちも参加する授業
- 興味実感がわくような授業。自分が在籍するクラスの何かを題材にして選挙をして、実際にその通りに変えるなど。(一から内容を考えるのはまだ難しいと思うので素案は先生側で作成)
- 特定の候補者を扱うのは難しいと思うが、ネットミーム化されている候補者の方がネット上に広まっていて理解しやすいと思うので、名前を伏せてでも、選挙ポスター問題等の実際の選挙で有った課題を取り扱った方がいいと思う。
- 政治について体験できるもの (実際に選挙の参加できる形だととても良いです)
- 実際に自分たちで選挙をやってみるなど。
- バーチャルの世界で実際に投票できる機会がある。(オンラインゲームのような感じで)
- 体験できる、ゲーム形式の教材。クラスの中でそれぞれが興味のある党について調べる。又は、「教室に花を飾ろう党」など架空の政党をつくり、選挙に臨む人と投票する人に別れて、当選した人は、又はしなかった人はどんな言動・行動を取るのか、どんな気持ちになるのか、その人に投票してみてもどう変わったのかまで、実際にやってみる。

- 選挙体験
- 先生たちで選挙する
- 政治の体験
- 自分が実際に有権者や政治家になって体験してみる授業
- 自分たちの学校をどう運営していくのかをリアルに一緒に考える授業
- 自分たちの暮らす市区町村の議会に「こんな街にしたい」を提出しその案に対して議会から意見をもらい、選挙で投票するなら誰に入れるかを考える授業。
- 自分で国を運営するみたいなゲームがあったら面白いと思う
- 実際に政治家になりきって、公約を出し、選挙活動を模擬的に行ったり、自身の掲げた公約（政策）でより良い自治体を作る模擬的な政治活動を行う
- 実際のお金を使う
- 政治家や候補者の視点になって、1 日を紹介する動画
- ルール作りについて、ワークショップで学ぶ
- ディベートの授業。テーマ自体は政治に関係なくてもいいが（唐揚げにレモンかけるかとか）、回を重ねて上手くなった頃に政治と絡めたら、イメージがわくのではないかな。
- みんなで話し合うような形式の授業がいい。
- 小学生の頃から親が期日前投票に行く際いつもついて行くが、親や兄弟が投票している姿を子どもに見せてあげられたら良いと思う。
- 教材ではないが投票所に子ども（選挙権がない 17 才まで）がついてきたら飴や駄菓子が貰えるとかご褒美があったら嬉しい。
- 実際の投票箱と投票用紙を見ることができる出前授業
- 投票箱の体験、投票用紙への記入などをしてみたいです。中学生になったときにはいろいろな委員会を決めるのに立候補、選挙での決定だったので勉強になった。
- 議員さんが定期的に学校に来て、一緒に過ごす
- 実際に政治家（国会、都議会、区議会、市議会）に学校に来てもらい対話する（子どもの視点から政治家に質問し、政治家に子ども政策を意識させる意図もある）
審議中の国会/都議会/区議会/市議会を見学させる（特に、子ども政策について議論している審議；現在の校外学習のように審議外に見学させても興味を持ちにくい）
「こども市議会」のように、市議会に子どもを招き審議の体験や見学が出来る機会を学校の授業で積極的に設ける
- テレビに出ていたりして見たことのある政治家の人が話してくれる動画
- 市長や議員の人たちに直接質問できる授業
- 現実と政治の政策がどう繋がっているか、地方の議員さん中でもらったり、選挙委員会の人たちでもらったりする。その後に模擬投票を学校の先生たちや生徒などが立候補したと仮定して選挙を行う。

- 政党を応援にならないよう平等性をきした上で、実際に政治家の方からお話しを聞く機会があると興味を持てると思う。
- 首相官邸への旅・・・
- 細かく説明されている普通の教科書
- 政治や選挙を小学校内や普段の生活に関係あることに置き換えた動画
- 身近な生徒会選挙や学級委員選挙について考えられる教材。実際のマンガやアニメを使う
- キャラクターが架空のクラスの学級委員長（または児童会長）選挙について話す動画。架空の学校について、現在浮き彫りになっている問題点や、候補者の公約を見比べる内容。候補者の選び方や、自分の学校生活が学級委員長選挙と関わっているということを知ってもらい、将来実際の選挙に行ってもらいやすくする。
- 政治家がどんなことをしているのかがわかる動画
- 選挙についてわかりやすい動画があればそれを活用した授業。また実際の選挙を通じて候補者が挙げている政策についてのわかりやすい説明
- どの党がどういう政策をしたいと考えているか。国会で今なにが話し合われているかを噛み砕いた言葉で説明している動画
- 選挙でどのような人を選べば良いか、自分なりの考えを持てるようなマニフェストの見方や政党の見方
- それぞれの関係がわかるような動画や、模擬選挙みたいなものをする
- 国民視点や政治家視点、富裕層の視点やそうでない人たちの視点などいろんな視点から学べる教材。
- 国政だけでなく、地方政治についても学べる教材。地方政治についてはその土地ごとにあるとより良いと思う。
- 政治話題をおりませている自分の地域に焦点を当てた社会科の授業での補助教材。
- 政治や選挙の仕組みを学ぶこともいいことだけど、それ以上に現状について学び、現状について議論することが大事だと思うから、そういうことをサポートしてくれる教材。小学生の間は仕組みを学ぶだけでも良いかもしれないが。
- 政治が日常生活にどのような影響を与えているのか、アニメーションのような形で知りたい。選挙について学ぶ前に、政治というものが日常とはかけ離れたものだと思っていたので。
- 政治や、選挙は何故必要かを分かりやすく教えてほしい。
- 選挙をすることによって、今の私たちの身近な生活にどのような形で現れているか分かる動画。
- 政治という事柄自体についての基礎知識を教える授業（動画やハンドアウトを含む）
- 世界の選挙などをみて学び、日本ならではのであることを知る
- 選挙がない世界の政治
- 歴史上、どのようなことが政治によって解決されてきたのかがイラストを用いて説明されている教科書
- なんでかくれてやるか

- 政治の表ばかりだけでなく裏も教える授業（そんなことはないと思うが 口止めしているかもだし いや同調圧力的な？）
- 昔の女性には選挙権がなくて、当時の女性が必死で手に入れたことを今の若い女性に伝えられる教材
- 一般的に言われている公民の内容と、政治の腐敗など実際の政治運用の乖離について述べた内容。実現はできないのだらうと思いますが、塾バイトをしていたときこんな理想形にはなっていない...という話をすると小学生の食いつきがすごくいいです…。それはお伝えしておきたいです。
- いまはどうかわかりませんが、カリキュラム的に小、中、高いつも公民は時間が足りていませんでした。政治や選挙の興味が無いのではなく、まともに教えてもらっていません。公民を学ぶ時期を年度の初めに持ってくる必要があるのではと思います。教員免許的に？なのか先生方も公民はあまりやる気がなかったように思うので、若い世代に政治的関心を持ってもらいたいなら、教える側の資格試験の制度も少し見直す必要があるのではないのでしょうか。
- 自分や身近な人の意見によって政治が動く経験をする
- 政治家が興味を持たせる為のもの
- 高学年になると、こういうキーワードになると思います。「心」と「自由」と「人権」と「意思決定」と「信頼」と「持続的可能な高効率の高い循環」と「子どもと若者を含む国民の意見」「人権侵害ゼロと拷問ゼロとテロ発生率ゼロで信頼性の高い意思決定政党」と「隠れステルス反社会的団体と共産権威主義の攻撃から、自分の身を守る方法と対処法」といったテーマの教材があったら良かったと思います。もし仮にこれが無かったら、SNS でデマが起き、最終的には、ミャンマーや香港のような大規模不安定を引き起こす恐れが高まります。また、フリースクールに通っている子も、どうやったら、政治に興味を持つのか重要だと思います。バランスと許容範囲でアニメ・ゲームキャラクターを使ったら、日本の民主主義と自由を守る事が可能だと思います。それを受けた方が良かったです。また、才能もしくはもっと政治に興味が高い子は、Q5 を参照
- 与党寄りでもなく、野党寄りでもない教材。
- どのような教材でも興味はわかないと思います。
- 小学生の時点では、選挙があるくらいは知っておいた方がいいと思うが、投票権はないし、詳しく学ぶ必要はないと思う

Q5. もし、みなさんがいま中学・高校生として（中学・高校生の人は、実際に自分が）、選挙や政治について学ぶ授業を受けるとしたら、どのような教材があれば興味がわきますか。（自由記述）

- 有名キャラクターが説明してくれる教材
- 有名なキャラが出ている漫画。
- 有名キャラ、オリジナルキャラがそれぞれの政党について解説してくれる動画。
- 有名な何人かの政治家のピックアップでどんな政治を作ろうとしたか、どんな政治思想だったのかをキャラクター紹介みたいに書かれた教材 頭に入りやすい
- 身近なキャラクターがいると親近感が湧く
- 人気キャラクターが語る動画
- 人気 YouTuber が政治や選挙について語る動画
- 人気 YouTuber などが、選挙や政治について面白く、楽しく語ってくれるなど。
- 人気 YouTuber や芸能人が身近な政治的問題について話している動画
- ゲームや人気のコンテンツとのコラボ
- 人気アイドルや声優とのコラボ
- 上記でも述べましたが、小学生のように、キャラクターはないとしても、人気芸能人とコラボレーションして PR するのも良いと思います。人気芸能人を起用することで、政治や選挙について、親しみが生まれて、より関心を集めることができると思います。
- 同じ年代のタレントやアイドルと一緒に学ぶ形式の動画
- 政党擬人化とか？
- 声優が喋っている動画
- 流行りのアニメなどが面白く説明してくれる動画。
- ゲーム形式など参加できる教材
- クラスや学年単位で楽しめるミニゲーム形式の教材
- ゲーム感覚で選挙や政治についてを学べるもの。例えばボードゲームのようなもの。
- ゲームの教材
- ゲーム形式、架空の人物、キャラクターが出てくる動画※「架空の人物、キャラクターが出てくる動画」は小学生と同じ
- ゲーム形式で実際に選挙や政治を体感してみる教材
- ゲーム形式のもの
- ゲーム形式の教材。みんなでクイズバトルみたいやつ
- ゲーム形式の教材（5件）
- ゲーム形式の動画
- ゲーム形式やボードゲームをしながら受ける授業。実際の投票箱を使って学生会の投票を行ってみると身近に感じると思う。
- シミュレーションのボードゲームなどがあるといいかも。投票、マニフェスト、後援会などのランダム要素があり、汎用性があれば全国で普及させられる

- シミュレーションゲームのようなもので、自分の行動によって未来が変わる可能性があるということを感じたい。選挙に行ったところで何も変わらないし日常は苦しいまま変わらないと思っていたので。
- 簡単なゲーム形式のもの
- 過去の政治に関することや、動画を視聴したあとのクイズ。(RPG 形式や回答ポイントでキャラが成長する、など)
- 投票所の仕組みについて、候補者についてなどをゲーム形式で紹介するもの
- 謎解きバックミたいな。自分から動かないと選挙や政治の情報が入ってこないと思うので、情報を得る手段を使ったら謎が解けていくみたいなのゲームができれば楽しそう。(ポスターや選挙公報や演説にヒントがあるみたいなの)
- 選挙について解説している動画
- 資料を使って解説する動画
- TikTok で選挙や政治について学ぶ
- 実際に政治を行っているところの動画をたくさん見る。
- 実話に基づいた動画
- 動画や実際に架空の選挙を実施することで興味が湧く
- 実際に選挙や政治をしている動画
- 選挙や政治の仕組みの全体像がまとまっている動画や一枚絵
- 発信方法が動画でも、実感が湧くものが良い。スライドではなく、動きがあるもの。立ち止まって考えるポイントがあるもの。
- 【動画】実際の選挙特番を、出てくる用語や社会問題をさらに噛み砕いた解説付きで観て、模擬投票をやってみるのがいいと思う。そのビデオに、後年の政策評価（何を期待された政権で、どんな社会事象にどう対応したか、など）まで盛り込めるとなお良いと思う。アメリカの「THE BEST OF ENEMIES」という芝居（映画化も。邦訳あり）のようなイメージ。
- Q3の動画など教科書以外の教材はNHK for school
- NHK などの特集ドキュメンタリーの放映
- クイズがある（2件）
- 細かく説明されている普通の教科書
- イラストがたくさんある教材
- 写真や図表を使いながら、分かりやすく説明してくれる教材
- 公共の教科書でいいと思う
- 公共の授業でやっているのを使う
- 実際に選挙の体験ができる模擬選挙
- 選挙期間中に実際の候補者を用いた授業内で模擬投票を実施する。実際の候補者を用いて生徒に議論の上投票させることで、大人が投票した結果と生徒の視点で投票した結果の差を見ることが重要であると考え。 （公職選挙法選挙における選挙期間中の人気投票公表禁

止が弊害。私自身も高校時代に同様のイベントを企画したが、公職選挙法当該規定により断念した。イギリスや台湾など民主主義を導入する諸外国では、こうした人気投票を教育に取り入れる場面もあるため、ぜひ日本にも取り入れてほしい。)

- 学校で「性格診断テスト」が流行っている。2024 東京都知事選の時に「投票マッチング」というサイトを家族が試していて僕も区から貸与されている Chromebook でやってみて面白いと感じ、架空の選挙の投票マッチングを作り授業でやってみたい。クラスの皆でやればより選挙を身近に感じ、18 才以降選挙公報が視界に入らない方や読むのは面倒な方でもスマホで気軽に隙間時間に試してもらえと思う。
- グループにわかれて、各グループで公約をつくり、選挙活動を行い、実際に投票してもらい、参加型の教材
- クラスの中でミニ選挙をやってみる
- 架空の話で選挙をする
- 架空の話で選挙を行う実践型の授業
- 過去の首長選や議会選の候補者から擬似的に投票する授業
- 学級委員や生徒会の選出を、政治の選挙と同じように実施して学ぶ
- 学年で一定期間、架空の候補者に対する投票期間を設け、無投票者数の多いことを学んだりすること。
- 簡単に自分で体験
- 疑似投票（ご飯のおかず総選挙など、人じゃないもので）のできる出前授業
- 実際にやってみる（デモンストレーション or 寸劇的なやつでも）
- 実際にやってみることのできる教材
- 実際に何故政治が必要なのか、選挙をして、日本がどうかかわれるのかを詳しく知りたい。口頭ではなく、実際に政治がどのように行われるか、体験型講座をやってみたい。
- 実際に架空の話を作ってクラスでやってみる
- 実際に自分たちが投票してみる体験が出来ると良いと思います。投票する人はどうやって選ぶのか(どこから情報収集するか)、投票した結果どうだったのか(自分が投票した人が当選したのか落選したのか)、政治参加をすることの大切さを学ぶ機会になると思います。また自分が支持する政治家、政党の考え方をディベートする。政治に対して自分の思想を語ることを忌避する傾向が政治への無関心に繋がったと思います。積極的に発信しあうことが大切だと思えるような学習ができると良いと思います。
- 実際に授業内で疑似選挙を行う
- 実際に選挙をしてみる
- 実際に選挙を体験できる教材
- 実際に体で体験できる、楽しさが加わった授業
- 実際に模擬選挙が行える教材

- 実際の選挙と同じように架空の町の選挙を期間や時間も含めて現実に沿った形で行えることができるゲーム。
- 実際の選挙情報の見方や、選挙の裏側などの特集番組等、実際の選挙についての興味を深める教材
- 実在する政治家や党への投票をクラスで実施できる教材
- 模擬国会や模擬選挙など、実際の政治や選挙に近い形式で行いながら、現状の政治や選挙の意義や課題を考える授業
- 模擬選挙
- 模擬選挙
- 模擬選挙などのシミュレーション
- 模擬選挙の実施
- 模擬選挙や投票用紙の有効、無効の基準や白票について
- 模擬選挙をやってみる
- 模擬選挙を校内で行う。（市町村と協力して、実際の会場で本番同様にやってみるのも良いと思う。）
- 生徒会選挙において、実際の選挙箱や投票用紙等の貸し出し
- 生徒会選挙を本当の選挙のように、選挙カーを借りて行う。みんなで話し合う形式がいい。今ある選挙制度が正しいという前提ではなく、どうしていけばより良くなるのか話し合えると楽しい。
- 生徒会役員選挙を使って学ぶことができると思う。また、直接民主制（首長選挙とか）と間接民主制（国政選挙とか）の違いも理解できたほうがいいので、それぞれのルールに従ったロールプレイングゲームをしたら良いと思う。
- 選挙体験ができる。生徒会の選挙を国会みたいな方式にする。生徒会役員は選挙で決めるけど、生徒会長は、役員の投票にして校内放送する。
- 興味実感がわくような授業。自分が在籍するクラスの何かを題材にしてグループを募り、グループごとに意見を交わし投票して実際にその通りに変えるなど。
- 本当の公約で選挙をする
- 本物の候補者の公約を見て（政見放送の内容を要約したもの。中学生に不適切なものは学校側で除外する）、実際に投票する
- 選挙や政治を体験できる教材
- ルール作りについて、ワークショップで学ぶ
- 架空のお話を通して、選挙や政治について、無い世界や今のままだとどうなるのかを描いた動画
- 架空でもいいので、政策がさまざまな政治家を何人が用意して、実際に投票してみるゲーム形式？みたいなのもいいと思う。
- 座学をしてから、体育館などを使って模擬の選挙をする
- 自分が実際に有権者や政治家になって体験してみる授業
- 選挙の体験や模擬国会などができるような教材があるといい

- 選挙の模擬体験や国会などに寄せた模擬会議を実施して欲しい。投票することや政治家になることに興味を持つ人も増えると思う。
- 導入はアニメ、架空のお話がいいです。
例:動画で A 候補者 B 候補者の公約を聞く→自分ならどこに投票するか、クラスで話し合いどちらかに投票することを決める→“A 候補者 or B 候補者”動画でその結果未来の社会がこうなりました。あなたはこういう社会を望んでいましたか？という振り返り
また、結局どこの党に入れたら良いのかわからないということもあるため、偏見のない範囲で与党、野党の主張や、党の特徴がわかるような動画があるといい。
- 生徒会に学校予算の一部の執行権を与え（1 万円程度で構わない）、予算配分について生徒会選挙期間中に全生徒間で議論する場を与える（民主的な方法で予算配分をする練習をさせる）
- 実際に政治運営がどう進んでいるか、体験形式のゲームもしくは、実際の現場を見てみる機会など
- 政治家になったつもりで実際の社会課題について政策を考え、様々な立場の人にどのような影響を与えるか考える
- 政党を作って学校内の課題について話し合ったりする形の教材や、クラス全員が議事を体感できる教材など。とにかく、高校生なので架空のものよりかはリアルさがあつた方が興味も湧くし、為になると思う。
- 中学生の頃社会の授業で、自国を上手く発展させるためにどうしたら良いかを学ぶ「貿易ゲーム」を行いました。そのように、「政治ゲーム」のようなクラス内で小さな政治が行われているのが分かるゲームがあると、子どもたちも積極的に授業に参加し、理解が深まりやすいと思う。
- 小冊子の教材。自分が総理大臣になったとして、日本の年間予算(授業内でいくらぐらいかクイズを出す...?)に対して、どんな社会制度/事業支援を施し、それにどれだけのお金を投入するか考える内容。その予算を確保するためにどんな財源を準備するかも考える。現在ではどのような配分になっているか示したり、人口統計や生徒たちが思いついていない制度/事業等を示したりして妥当な制度設計をする。都道府県や市区町村にお願いすべき内容も考える。自分が過去にとある企業から金銭的に助けてもらった過去がある、親戚に有名企業の社長がいる、暴露されたくない弱みを握られているなど条件を加えていって、総理としてどんな立ち振る舞いをするかも考える。スマホで現行の制度を調べられるとあんまりおもしろくないと思うので、紙の冊子を活用してもらいたいです。
- 自分たちの校則を自分たちで考えたり、そこによる問題点や課題を探究したり、同じ思いをもつグループの中からリーダーを擁立して選挙や投票を行うような体験型の授業
- 自分で架空の政党を作って公約を作成する。その中から一番共感度が高いものを行政に提案する。
- その時に行われている立候補や政党の意見を調べて、ディスカッションを行う。
- クラス内で討論を行う

- グループに分かれてディベートできる教材
- 今の日本では政治に関する話題が敬遠されていると思うのでその解消のために中高生くらいになったら政策について具体的に議論させてみるのも良いと思う。
- 新聞記事やテレビなどのニュースの中から、生徒自身が気になるニュースを引用し、そのニュースについて、生徒同士が感想を言ったり、そのニュースについて社会的に何か問題が生じているとされているのであれば、それをどう改善すべきかについて、生徒同士で議論すること。
- みんなで学べる
- 討論を通じて、社会問題や政治について関心を持つことができるのが望ましい
- 哲学的な問題の均衡を図るようなディスカッション形式の問題（例えば DSDs 選手のスポーツ上の分類など、双方の主張が正しいと思われるが折り合いを付けなければいけないなど、政治として求められる均衡調整に通ずるもの）
- 投票体験
- 実際の投票箱や投票用紙を用いた体験学習
- 実際の投票箱などを見て選挙を身近に感じてもらう。生徒会選挙等を本物の選挙箱でやる、投票所入場整理券等を配布したりして実際に体感する。
- 実際の投票箱等を用いた生徒会選挙などがあれば、興味や関心が湧く。
- 実際に投票所を作って、投票箱に票をいれるという体験
- 選挙体験キット。実際に投票所で書く紙や、投票箱、候補者のポスターがついている。それが VR で投票所を擬似体験できるといいかな。
- 中学生の時生徒会長選挙で、市から実際の選挙に使う投票箱を借りて実際の投票と同様に選挙を行った。自分たちが体験することで選挙の仕組みや 1 票の大切さがわかったので義務教育のうちに全国でやるべき。
- 「こども市議会」のように、市議会に子どもを招き審議の体験や見学が出来る機会を学校の授業で積極的に設ける
- 議会の見学
- 県議会議員や市議会議員の事務所で職場体験をする。議会見学。
- 区議会、国会などの見学（国会見学は小学校で行ったけど、区議会は行った経験がないため）
- 政治家の 1 日密着取材、インタビュー
- 実際に政治家が学校に来て、身近な政治問題について話してくれる授業
- 若い政治家の人が教えに来る
- 実際の政治家からの話
- 現実と政治の政策がどう繋がっているか、地方の議員さん中でもらったり、選挙委員会の人たち中でもらったりする。その後に模擬投票を学校の先生たちや生徒などが立候補したと仮定して選挙を行う。
- 実際の議員の活動がわかる動画。

- タブレットでも国会中継を見ることができる(視聴料金は発生させない)。
- 政治家の話を聞ける体験
- 政治家が直接若者に伝える
- 政治という事柄自体についての基礎知識を教える授業(動画やハンドアウトを含む)に歴史の中での選挙の重要性を教える課程を織り込んだもの
- 政治の仕組みがなかったら、社会はどうなるのかを面白く劇にした動画(劇は好きな人がほとんど)
- 今どんな社会課題があって、解決のためにどんな取り組みが行われているかを、NPO職員や市民活動家から聞く機会
- 政治や選挙の仕組みを学ぶこともいいことだけど、それ以上に現状について学び、現状について議論することが大事だと思うから、そういうことをサポートしてくれる教材。
- なぜ〇〇政党ができたのか。現代社会の歴史背景に絡めた客観的な説明
- 選挙の歴史や、日本と海外の選挙を比較した教材。選挙権の年齢の移り変わりや国によって制度が違うことを知ると面白いと思うし、日本の政治についてより深く考えるきっかけになると思う。
- 中学生と高校生の場合は、Q4を参照でこれまでの復習を強化して、もちろん、アニメ・ゲームキャラクター使った方が可能だと思います。さらに、「欧米の民主主義とは?」と「台湾の民主主義」といったテーマの教材があったら良かったと思います。
- 制度についての、他国との比較
- 今年の都知事選
- 過去の選挙などの結果や海外の大統領選なども気になっているので知りたい。
- その自治体で実際の候補者が掲げた公約などを例に当選して実践されたものを挙げ、選挙や政治が生活に直結することが実感できる教材。
- 各候補者のわかりやすい公約の説明
- 全ての国政政党の最新の政策についてまとめた教材 政府が行った/行おうとしていることについての議論を促す教材
- 実際の政党の主張を公平に紹介する
- 現在行われている政治がわかる教材。～党の政策は～。とわかるもの。
- 最近の選挙で当選した人に勝因を解説してもらう
- 実際の政党や政治家についてきちんとした説明がある
- 探究活動と絡めて、実際に選挙に出馬している公約と絡めて効果測定・調査・分析を行う
- 実際の国会議員さんの紹介(選挙の開票中の報道で出てくる、人柄がわかる報道) +ゲーム形式で投票できる教材
- 選挙に行くことによるメリットを明確に示した教材。実際に身をもって体験できる教材が望ましい。
- 選挙の重要さ。若者が選挙にいかない現状
- 選挙の大切さが分かるもの
- 選挙に参加しなかったら自分たちが後々困ることがわかるような教材
- 選挙に参加しなかった場合に自分の意見は反映されないという恐ろしさを強調しているもの

- 選挙に行く事や、政治がどのように自分たちの生活につながるのかをきちんと説明している教材
個人的に動画よりも活字で見た方が印象に残ると思います（動画だと情報が頭から流れていくため）
- 選挙や政治が今の私たちの生活にもたらす影響を伝える
- 選挙や政治が自分の生活にどのようにかわり、必要なものであるか、簡潔に教えてもらえると興味が湧きます。
- 自分が選挙に参加する年齢になったとき、どのような方法で立候補した方の中から選び、選挙をしに行くのかといった、具体的で分かりやすい動画。
- 市区町村長選挙や衆議院議員総選挙など、リアルに選挙が行われる時期に、学校内で調べて投票することをサポートする動画。選挙に当選したらこの役割はどのような仕事をする人であるかと、個人の公約、マニフェスト等を分かりやすく説明している動画。
- 不在者投票制度を教えて欲しい。高校卒業後住民票を異動させずに上京している学生は手続きをすれば日数がかかるが投票できるので、中学・高校だけでなく大学や専門学校の入学式やHPでアナウンスしたら良いと思う。
- 国民視点や政治家視点、富裕層の視点やそうでない人たちの視点などいろんな視点から学べる教材。
- 国政だけでなく、地方政治についても学べる教材。地方政治についてはその土地ごとにあるとより良いと思う。
- 一つのテーマについて、相反する意見や判例を載せて、テーマについての知識を深めつつ、自分なりの意見を考えさせるものと面白いと思う。また、学校生活に絡めた内容（体育祭、テスト等）の授業は面白く感じる人が多いので、そういった教材があると親しみやすくて良い。
- 昔の女性には選挙権がなくて、当時の女性が必死で手に入れたことを今の若い女性に伝えられる教材
- 政治団体のスタンスや報道各社の編集の仕方、国民にたいする影響は大きく変えられるという事実。
- 汚職をしたら捕まって欲しい
- 罪を認める教材

Q6. 選挙や政治に関する動画を通じて、どんなことを知りたいと思いますか。(自由記述)

- 政治で行われていること
- 政治のこと
- どうして政治が大事なのか知りたい
- 自分たちの生活と政治の関わり方
- 政治参加すれば社会は変わる
- 政治に僕たちがどのような影響を及ぼせるのか？
- 私たちが知らないうちにどれほど政治に影響を与えているかを示してくれるもの。積極的に政治に関わることによって、その影響力がどれほど強くなるか。
- 何のために政治や選挙があるか知りたい
- 日本の政治の概要
- 法律があり、その中で政治があると思う。しかし、法律を詳しく知らないなので、まずは日本国民としての法律を詳しく分かりやすく教えてほしい。
- どのような政治運営がいま期待されているのか
- 政治家にはどんな政策を期待すれば良いのか。
- 若者が政治に参加する方法
- 政策、選挙と経済の関わり、政治と学校の関わりなど身近でなにが変わっているかを知れる内容。
- 各国の政治のあゆみ。
- 海外の若者がどう政治と関わっているのか
- 政治の歴史、各政党の目指す日本のあり方。
- 時代による政治思想の変化
- 教科書にあるような制度とかじゃなくて、こんにちの日本の課題や国際的な社会情勢（災害、コロナや戦争）による政治の歩み・影響を知りたい。
- 現在の政治の問題点とその解決案。
- 政治を正しいものにする方法
- 政治の腐敗について述べた内容。地方自治法改正や憲法改正など、その政策等がどんな事態を招く可能性があるかを述べた内容。
- いかにしてデフレなどの不況から日本が脱却するか。
- 私は、やはり、自由と民主主義と意思決定と国民の意見と持続的可能性の政治がさらに詳しく知りたいです。改めてですが、政治や選挙には、光と心と自由と民主主義と人権と意思決定という合言葉が重要です。それを行うには、こどもと若者には、アニメ・ゲームキャラクターを採用し、バランスと許容範囲内で、伝えることが重要です。なお、全部やると、間系詐欺系攻撃性の強い若者と中堅と高齢の方が、SNSとかで暴走するかと思われるので、注意をしながらやるべきだと考えられます。
- 今の日本の政治システム。実際にどんな事をやっているのか

- 政治がどういうものか
- 政治の基礎やややこしい仕組みについて。
- 実際どのように、組織を動かしていくのかなど。
- 政治を行う上で基礎となる考え方を知ったり、どのように自分の意見を政治に反映させられるかについて知ること。
- どんな機関があったり、どのような役割があるのかを詳しく知りたい。
- どのような仕組みなのか。どの役職が何をするのか。
- 区議会の役割、都議会の役割、国会の役割を知りたい。
- 国会で実際に決定されたこと
- 国方針が決まるしくみ
- 定年制・総理大臣はアメリカ大統領選みたいにしらないのはなぜか。
- 定年制がないのはなぜ？古い価値観で老害みたい
- 閣議決定ばかりで独裁政治にならないのか？
- 小中高の学生時代を振り返ると、確かに社会や公民などの科目で、政治ないし選挙について、学習してきましたが、正直なところ、実になっているかなと感じています。教育現場（学校）ではメインの教材の他に政治・選挙の専門のサブテキストの作成、発行も良いと思います。また、動画ではより踏み込んだ、選挙や政治の実態を社会人になる前の段階で吸収させた方が良いと考えます。（三権分立や衆参議員制度、与党野党など。）
- 政治について話し合う時の建設的な態度とはどういうものか。
- 国民の代表としてがんばる人が、本当にがんばるにはどんなことが大切なのか
- 政治家はどういう日本社会を目指しているのか知りたい。
- 政治家の一日に密着する
- 議員の仕事内容を詳しく知りたい。
- 選挙演説や議会以外での仕事の様子。
- 政治は、お金の問題も絡んでいるイメージがあったり、なんとなく触れてはいけない印象がある。そのため、実際にどのようなお仕事をされているのかを知りたい。
- 政治家がどのような仕事を行っているのかについて
- 政治家が何をしているのか、自分たちの生活とどのような接点があるのか、投票する意味
- 政治家にはどんな仕事があるか。会食とか誰かと話すとか、仕事らしい仕事をしているとはあんまり思えない
- 政治家のこれからのあり方
- 政治家の人がどんな風に意見を考えているのかなど
- 政治家の年収
- 国会議員の給料と裏金、世襲議員について、議員の居眠りについての公表、事実に基づいた政治のあり方、国会議員の給料について等々
- 民間人の目に触れない部分でしている仕事

- 裏金疑惑の解説
- 裏金問題
- 最初に現在のジェンダーバランス、若い議員の割合、国家予算に占める教育、子育て費用の割合など、日本の政治や政治家に対する世間の評価や偏見などのネガティブな情報をあえて最初に出したほうが良いと思う。私は障害者や LGBTQ+ の当事者が国会議員や地方議会にいてることを知って政治に興味を持つようになった。政治家イコールおじさんのイメージが強い。私の場合、自分の地域で選挙があっても候補者がおじさんなどの年配の人ばかりだったのであまり投票しなかった。女性や若い世代、障害者、LGBTQ+ の議員などはニュースではあまり取り上げられないので人によってはどんな人が政治家にいてることを知らなかったケースも考えられる。どんな人がいてるのかや、多様な経験や価値観を持っている人がいてることを知るなども重要かもしれない。また、教材っぽくなく、リアルだったり、興味を持つような設定やシチュエーションであるといいと思う。
- 省庁の施設の中、部屋の中、どのような事をしているのか実際の風景が知りたい。デスクワークしている所とか、他の部門の人と会議している所とか
- 実際、どのような感じなのか。父が公務員で選挙を手伝っているのだから、どんな仕事をしているのか、なども気になります。
- 実際に政治の分野で働いている人の意見を聞きたい。
- 選挙について
- 選挙の流れや生き立ち、気をつけることを学びたい。
- 選挙や民主主義、基本的人権の重要性
- 選挙の存在理由や必要性
- 選挙の大事さ
- 選挙の大切さ
- 自分で選ぶことの大切さ
- なぜ、選挙にいかなければならないかということ。
- なぜ選挙にいかなければならないか、政治に関心を持たずに過ごすとうなるか。(棄権が多いとうなるか、白票でも意味はあるのかなど)
- なんで選挙をするのか。なぜ投票をしないといけないのか。1票の重みはどのくらいなのか
- 選挙に行った方がいい理由、選挙とはなにか、どうして選挙をするのか
- 選挙に行くとどうなるのか、政治とは何をしているのか
- 自分が選挙に行くことで何かが変わるのか
- 投票することでどんないいことがあるのか
- 選挙が自分の暮らしに与える影響。
- 選挙したことがどう政治に反映されるのか
- 選挙はなぜあるのか。選挙がなく独裁政治になるとどんなことになるのか。なぜ投票率が高い方がいいのか。投票率が低くてみんなが政治に興味を持たないとどんなことになってしまうのか。
- 選挙をすることによって何が起るのか。なんのためにやっているのか。などなど…

- 選挙をすることによって国がどう変わるのかをしっかりと知りたい。どうせ変わらないと思って選挙に行かない人も多そうだから。
- 自分が選挙をすることができるようになった意味、背景、責任をより詳しく知りたいです。
- 自由選挙であること(クラスの中で〇〇党以外に投票するとかありえなくね？みたいな雰囲気からいじめなどが発生してはいけない)
- 選挙に行くことは権利であるということ
- 選挙に行く行かないを選択することも意思表示であることを知る
- 若者が投票する意義
- 若者が投票をする意味
- なぜ、高齢者のための優遇と言われてしまうかの所以
- 一票の格差が何故生まれるのか、女性が少ないのは何故なのか、政治家の本当の仕事は何なのかといった素朴であり重要な疑問が解消されると良いのではと思う。
- 一票の重さ
- 自分が投票する 1 票の重さ
- 外国籍の方は日本に長く住んでいても選挙権がなく選挙権がある事が当たり前でない人がいる事を知る事で、日本人が当たり前持つ一票を大切にしようと思う。
- 不在者投票制度
- 現在の選挙制度の課題
- 選挙の仕組み
- 選挙の仕組み
- 選挙の仕組み、やり方
- 政治が日本社会に及ぼす影響
- 選挙の仕組み、候補者などについて、内閣などについて
- 選挙の仕組み、立候補方法（中高生）、管理方法、選挙に関わる人の話（水道キャラバンと同じような感じ？）
- 選挙の仕組みがいまいち分からない。なぜ比例区で再当選出来るの？
- 選挙の方法、公約や立候補者についてはどう知れば良いか、公職選挙法違反についてなど
- 選挙の方法と政策について考えるためのヒント(国内外の様々なステークホルダーの立場で考えることなど)
- 選挙で誰を選べば良いか
- 選挙で投票することの大切さ。私たちが選挙を通してどのように日本を作っていけるか
- 政党などの基礎的で簡単な説明
- 選挙の今後について
- 選挙の仕組みや投票の仕方、公職選挙法で禁止されていること
- 今の日本の選挙の仕組み

- 高校生においては、選挙の区割りに関して学びたいと思う。かなり複雑であり、一般の社会人も理解が及んでいない。
- 高校生以降に関しては、選挙制度（特にドント方式の解説）などを、動画を通じて知りたいと思う。さらに言えば、地方議会に関しては特に興味や関心が大人でも低いので、そこにフォーカスした動画があればいいと思う。
- 各候補者の具体的な政策、公約
- 各政党の特徴や選挙候補者の公約の詳しい内容
- 選挙の時に『皆様の力になりたい』『皆様の為に働きます』と聞きますが、どの様にしたら僕たちの声は届きますか？
- 「結局どの党にいたら良いのかわからない。」「選挙になぜ行かなければ行けないのか」が解決されるような内容が知りたいです。
- 実際の選挙情報の見方や、情報媒体の紹介、政党・候補者・政策に対する一般的な認識
- 公約、公約の実行率
- 公約など詳しい情報
- 政策や公約をどのようにして見れば良いのか、私たちの一票が具体的にどのように国の政治を左右するのか。
- 政党ごとの重視している政策の特徴や政党の方針、現在低迷している投票率の現状と将来の予測値について
- 候補者の掲げる公約や過去実績としての政策を知りたい時に、どのように調べれば手軽に正確な情報を得られるか。
- 各政党について実際の政党の公約を分かりやすく書いて説明してほしい。どの政党も公約が分かりづらい。
- 各党の政策やマニフェスト(+その人本人の内容)
- 今ある政党がどういうことを公約としているのかであったり、どういう法律・政策が作られているのかを知る動画が見たい。選挙や政治の制度はなんとなくわかっているが、実際に何が争点になっているのかわからないことで政治に距離を感じてしまっている。
- 出馬した政治家が掲げている公約は、どのように実現に向けて動いていくのか、また、現状どの程度実現できているのか
- それぞれの党や派閥の特徴といった、投票の時に役にたつ実践的な知識を学びたい。
- 最近あった選挙の当選した人や勝因、人口のうちの投票率
- 立候補者の意見をどうやって見れば良いか
- 自分の自治体の中で選挙によって変わったもの。
- 実際の政治家の公約とそれが守られていたか。
- 本当に投票者の意見は反映されているのか、実感できる出来事。
- どのような観点で投票すればいいかの指標
- 選び方や注意しておいた方がいいポイントなどを教えて欲しい。(一通り基礎は学んでいる上で)

- ヤベエやつの見極め方
- 候補者の選び方。
- 選挙で投票する人の選び方
- 選挙に参加した理由、どうやって投票する人を決めたか
- 選挙に参加する際に、どのように投票する党・人物を決めれば良いのか。政府が若者に向けてどのような政策を実施しているのか。
- どのような見方で投票した方がいいのか
- 公職選挙法についてあまり習わないので知れたらいいなと思うが、それほど身近ではないので、なくても良い。国会の答弁は官僚が書いていたり、議員の行動が何らかの陳情に基づいていたり、有識者という名目の多くのアドバイザーやコーディネーターや秘書やその他の人々が動いていることを個人的に知っているため、あまり知りすぎても楽しくないと思う。若い世代には無党派層が多いため、イメージに頼らず、毎回よく考えて投票するように呼びかけられたらよい。
- 実際の投票の流れについて。選挙で議員を選ぶにあたり、公約や党の比較の仕方。自分の考えに近い政党がわかる選択チャート。
- 実際の投票所での手順
- 投票に関するルール、事前投票や当日行ってはいけないこと、投票の仕方など
- 投票所についてからの流れ。知っておいた方がいくハードルが下がると思う
- 選挙の立候補者に焦点を当てたのではなくて選挙の投開票にかかわっているひとや道具など普段みないようなところを知りたい
- 選挙を行う際にどのような手順が踏まれているのか
- 親や兄弟が投票している姿を子どもに見せてあげられたら良いと思う。
- 選挙や政治の現実
- 選挙や政治がどれだけ大切なのか、その必要性
- 選挙や政治が私たちの生活にどのように関わっているのか
- 選挙や政治が自分の生活にどう関わってくるのか。信頼できる情報の選び方。
- 選挙や政治が自分の生活にどのようにかわり、なぜ必要なのか、実例や身近な事柄で知りたいです。
- 選挙や政治で、私たちがどのような権利を持っていて、それはどのような効果があるのか
- 選挙や政治で人を選ぶ大切さ。
- 選挙、政治参加の大切さ。それによって世の中がどう変わるのか。
- 選挙や政治のしくみを知りたい、外国の選挙や政治を知りたい
- 選挙や政治の現状、実態を良いことも悪いことも全て正直に知りたい。
- 選挙や政治の仕組み
- 選挙や政治の仕組みについて学ぶこと。自分が知らない政治的問題を知ったり、自分とは違う考え方があるということを知ること。
- 選挙制度や今の政治活動について。

- 選挙や政治をもっと身近に思える知識、政策にかかわる言葉の解説
- 政治や選挙がもっとおもしろくなってほしいしもっと分かりやすくなってほしい
- 仕組みやなんで必要なのかを知りたい
- 政治と選挙の裏側、首相の国民投票をしない理由
- 社会のこと
- 現状
- 現代社会
- 私の将来のこと
- 言葉ではわかりにくいこと
- 大切さ
- 知らないこと。一般常識として、知られていることを扱うよりも、あまり知られていないことを扱う方が興味が湧きやすい。
- 常に世の中で何が起きているのか知る大切さ。正しい情報を自分で探す能力。
- 偽情報や過激な主張に扇動されないための情報リテラシーや政治・選挙のあり方、若者の政治運動と力強さ
- 折り合いの付け方や利害調整など、政治外にも応用可能な知識
- 今の日本をより良くするためには、若い国民としてどのようなことを頑張っていけば良いのか。
- 自分はどのような行動をすればいいのかということ
- 若者が選挙や政治に関わる意味
- 動画をみていない
- 色々な種類の短い動画がたくさんあると、授業で使ったり興味のある動画を視聴したりしやすいと思う。動画を観るだけで政治や選挙への興味が持続するわけではないと思う。
- 動画もいいと思うが、実際に体験する方が記憶に残るので、受動的に動画を見るだけでなく、能動的に選挙や議会を体験するべき。限られた予算を動画制作会社やタレント等の利権がらみではなく、子供達の体験に使って欲しい。
- 動画前提なんですか？動画ではなく、主体性を育む教育が必要です。
- 討論会をしてその人の人間性や思い、政策基盤を知りたい。アベプラみたいに質問ぶつけてすぐ答えるやつとか、YES.NO で答えるようにして欲しい。「○、×で答えなさい。やむえない場合は△も可とする」としているのに、記述で答えるのは意味がわからないのでやめて欲しい。話題になっていることについて YES.NO で表を作り一覧にして欲しい
- 自分の罪を認める。